

の方に協力をお願いしており、2か月に1回ぐらいのペースで、ゆずりは学園に泊まり、里山の整備や、学園祭の準備を手伝ってくださるなど、いろいろと助けていただいています。インターネットでボランティア活動を知って、名古屋や大阪だけでなく、東京などの遠方から何度も活動に参加して下さる方も多く、本当に感謝しています。子どもたちも見知った顔だと安心するのか、和気あいあいとバスケットボールなどを楽しんでいます。



ゆずりはの森で生徒たちと里山活動

### 発達障がいへの対応に試行錯誤 本当のことは子どもたちが教えてくれた

**学園長** これまでたくさんの生徒の面倒を見てきましたが、不登校やひきこもりなどを抱える子どもたちの特徴として、発達障がいの傾向があるのではないかと思います。視覚や聴覚などの感覚が過敏であるために、人の視線が気になってストレスを抱えてしまったり、大きな音でパニックを起こしてしまったり。しかし、その反面、記憶力が驚くほど優れていたり、わずかな音でも聞き取ることができたりと、一人ひとりが何かしらの個性や才能をもっているのです。

そこで私たちがこれまでに培ったノウハウを、文字で残そうと、『発達障害対応マニュアル「異空間のドアを開けて」』という本を出版しました。この本では冒頭に「はい」「いいえ」のアンケートがあり、そこから子どもたちをパターンに分

けて、私たちが経験した事例から『この子にはこう接する』という対応例を紹介しています。

たとえば、「人に注意されても聞こうとしない」という項目が「はい」であれば、「話す前に当人の名前を呼び、ほめるような言葉をかけてから、ゆっくり静かに直してもらいたいことを伝える」、または、「当人が好きな人や信頼している人に注意してもらおう」などがあげられます。

その対応が正しいか正しくないかではなくて、何か1つ、答えをだすことによって、ほかの人が「このやり方ではダメだ」と思ったら、また新しい答えを模索していければいいという思いがありました。

**理事長** 最初は私たちも色々な本を参考にしている、本と実際の子どもたちの行動と、どっちが正しいのか悩んだことがあります。でもそれは結局子どもたちをみることで分かりました。知り合いで大人のひきこもり支援をしている方からは、「大人はなかなか本心を話さないですよ。『家族は誰が好きですか?』と質問しても『みんな好きです』と言ってごまかされることが多いんです」という話を聞きますが、子どもたちは素直でハッキリしています。本当のことはすべて子どもたちが教えてくれましたね。

### 自分に合う居場所を 生徒が自由に選択できるように

**学園長** 今でも多くの子どもたちが不登校などで苦しんでいます。学校へ行けない子どもは、問題児扱いされるケースが多く、死ぬまで辛く、苦しく、朝が来るたび布団のなかで泣く毎日を過ごすくらいなら、学校へ行かなくても良い選択を取らせてあげたいです。

「自分が自分らしくそのまま」でいることができるフリースクールを目指してきた本校は、開校当時2人だった生徒が、今では小学生から青年まで、100名が通っています。

**理事長** 今の学校は閉鎖的です。日本全体が閉鎖的ですが、どの学校もオープンにしなければならないと思います。誰が見ても、来ても、取材してもいいというくらい、取り組みをオープンにすることで、地域の方々や企業との交流、支援にもつながると思います。



三河湾で行われる、体育のカヤック授業

**学園長** 現在、ゆずりは学園田原校では通信制高校さくら国際高等学校のスクーリング会場にも指定されています。4月からは中京学院大学附属中京高等学校とも提携を結び、田原校と豊川稲荷校でスクーリングができるようになりました。

**理事長** 田原校は自然が好きな子はいいのですが、駅から遠いので少し不便ではあります。なので、生徒

が通いやすいようにと、豊川駅の前に豊川稲荷校をつくったのです。

子どもたちにとって、学習する場所は自宅から近い方が便利です。しかし、なかには「いじめ」の関係で、遠くの学校に通いたい生徒もいますので、多くの子ども、生徒に対応できる学習環境が必要です。中学時代も高校時代も1度きりです。苦しみことなく楽しい学校生活を送れるといいですね。

ゆずりは学園のなかであっても「いじめは0」とは考えていません。もちろんいじめがあつてはいけませんし、いじめが起こった場合、みんなが社会の一員として責任を感じなければならぬことですが、狭い地域ですので、前の学校でつながっていた子がたまたま教室にいた、ということもあります。いじめはなくなるとは思いますが、周りの大人・教師が見ることで、少なくはなります。

**学園長** 海と森と仲間づくりの「ゆずりは学園」は、豊かな自然環境に囲まれた子どもたちの「もうひとつの学校」です。学園から徒歩3分の手づくりのゆずりはの森は、標高223メートルあり、頂上が入学式会場です。子どもたちの仲間づくりの場をこれからもつくっていきます。

#### 学校プロフィール

##### 特定非営利活動法人 ゆずりは学園 田原校

〒441-3432  
愛知県田原市野田町田尻 15-14  
HP: <http://yuzuriha-gakuen.com/>

##### ゆずりは学園 豊橋校

〒441-8141  
愛知県豊橋市草間町字東山 143-6  
アイプラザ内 会議室

##### ゆずりは学園 豊川稲荷校

〒442-0036  
愛知県豊川市豊川栄町 21  
梅原ビル 2F

#### ゆずりは学園の本

##### 異空間のドアを開けて 定価 2000円 (税込)

いじめ、ひきこもり、子どもたちによるこだわりなど、182個のチェック項目から、子どもたちが持つ、さまざまな個性への対応をイラストカット付きで紹介されています。



##### ご希望の方は

「住所・氏名・電話番号・希望の本、冊数」を明記の上、ファックスやメールにてお問合せください。本と合わせて、振り込み先が送付されます。(振込手数料は購入者負担にてお願いします)  
ファックス: 0531-22-7761 電話: 0531-22-3515  
メール: [kutsuna\\_ike@yahoo.co.jp](mailto:kutsuna_ike@yahoo.co.jp)